

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2024年 第1週 (2024年1月1日～1月7日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

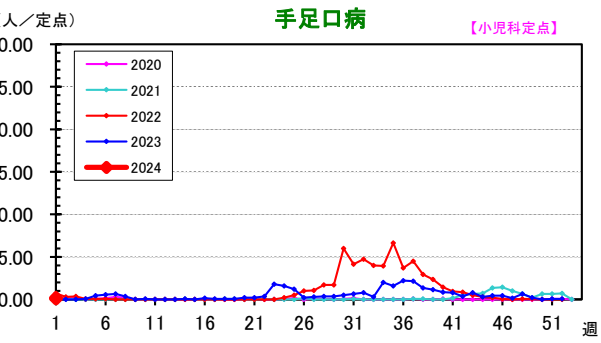
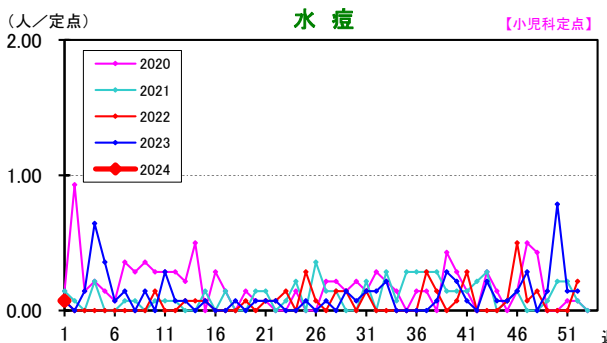
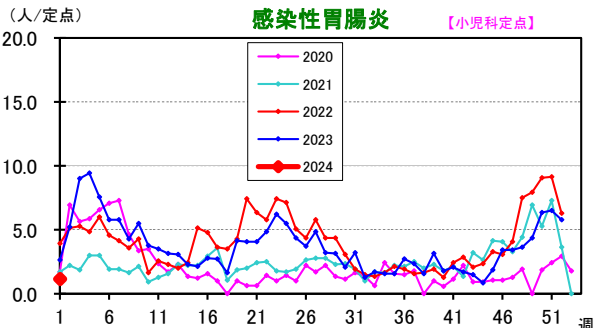
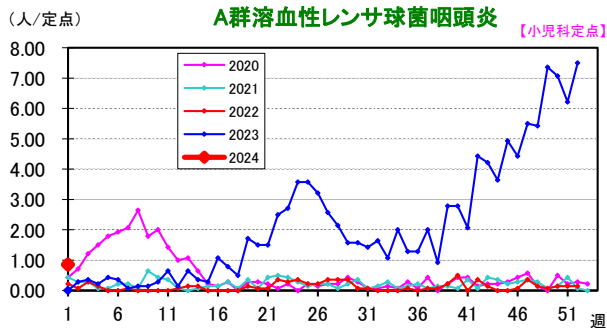
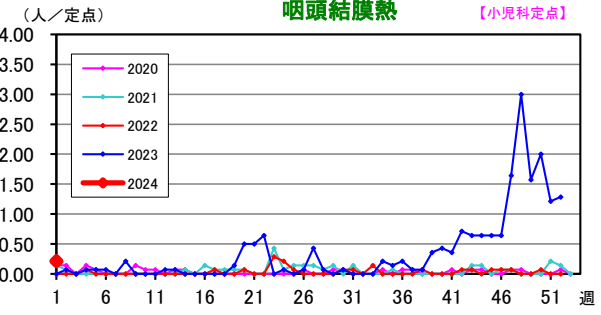
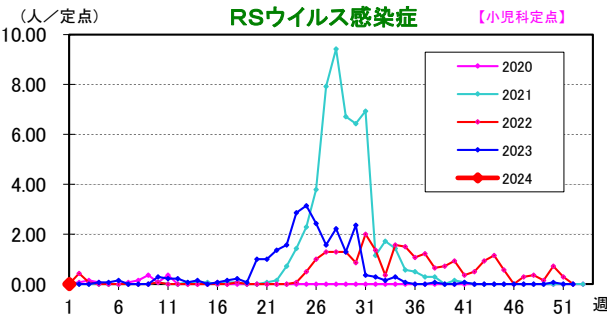
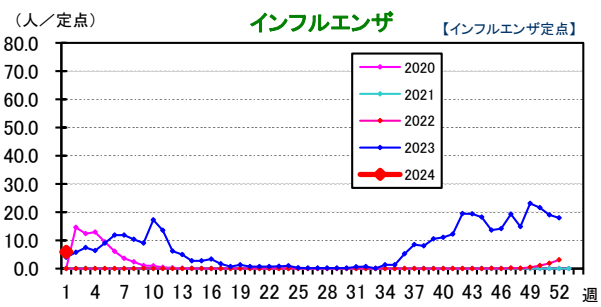
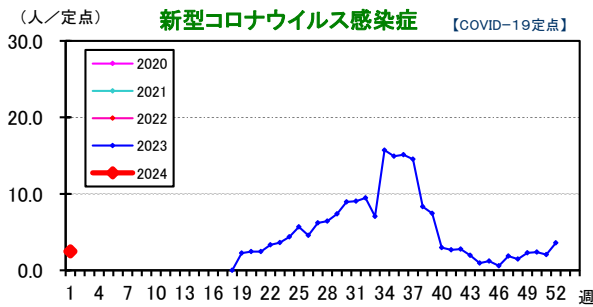
＊管内定点医療機関からの報告 ～COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関～＊

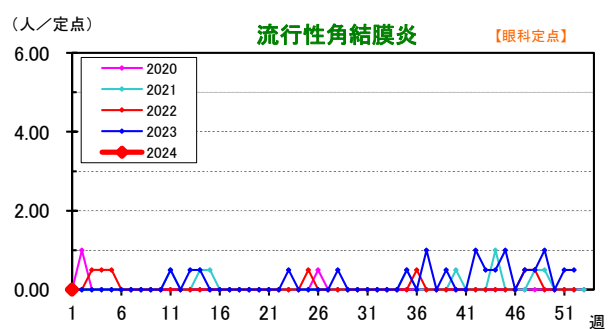
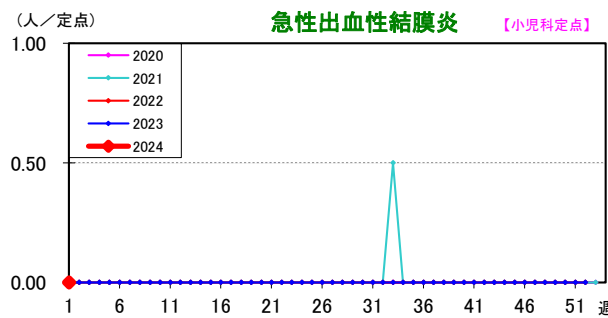
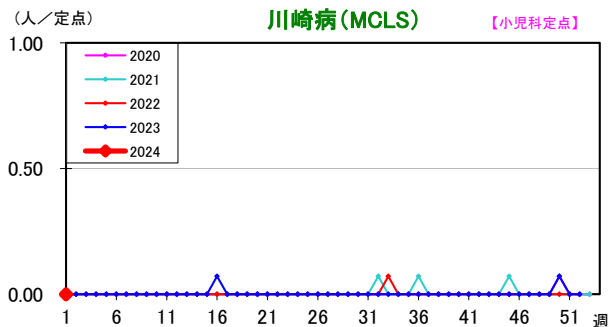
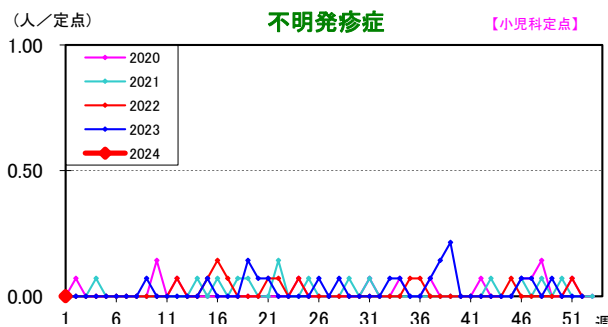
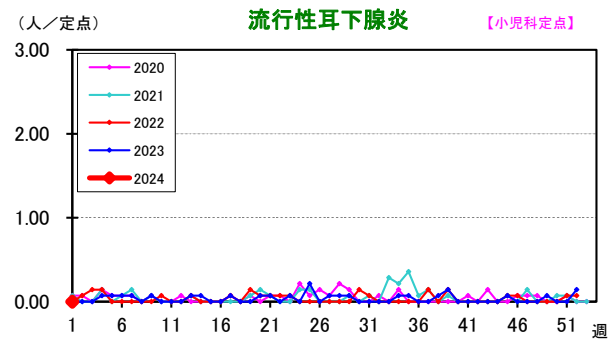
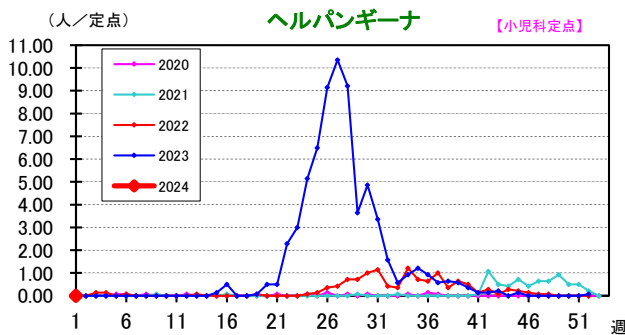
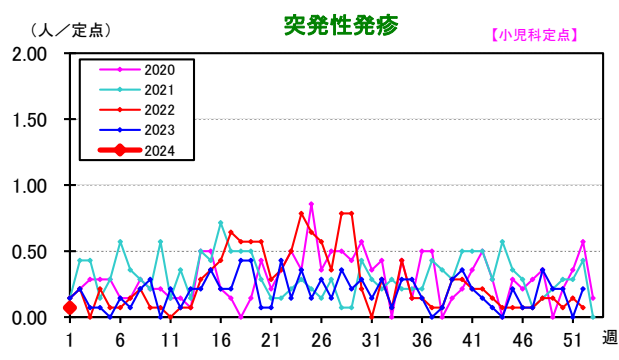
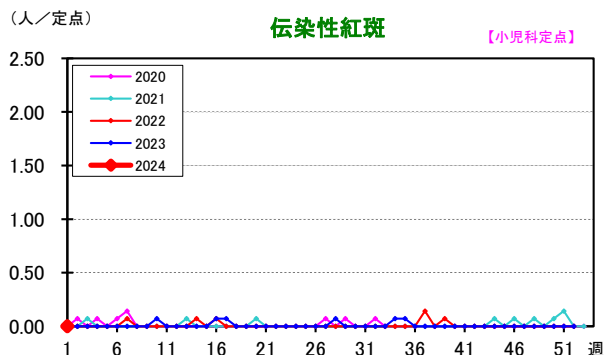
【東京都全体:今週の注目される定点把握対象疾患】

・対象疾患全体的に定点当たり報告数が減少していますが、年始の休診の影響が考えられます。

【多摩立川保健所管内】

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、0.86人/定点です。38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状を呈します。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は5.86人/定点です。1～3日の潜伏期間の後、38℃以上の発熱、頭痛、咳、感染痛を呈します。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.79人/定点です。ノロウイルスによる胃腸炎では、吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛といった症状を呈します。症状のある人のおう吐物や便を処理する際は注意が必要です。
- ・全体的に前回の報告数より減少していますが、年始の休診の影響が考えられます。いずれも流行が懸念される感染症です。流水や石けんによるこまめな手洗いや、咳やくしゃみをする時には口と鼻をティッシュ等で覆うなどの咳エチケットが有効です。基本的な感染防止対策を一人一人が心がけ、症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。





【都内の感染症発生動向について】 東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>
 【国内の感染症発生動向について】 国立感染症研究所感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2023 50週		2023 51週		2023 52週		2024 1週		1週からの報告累計数
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	50	2.38	43	2.05	75	3.57	123	2.48	123
インフルエンザ	453	21.57	399	19.00	377	17.95	52	5.86	52
RSウイルス感染症	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
咽頭結膜熱	28	2.00	17	1.21	18	1.29	3	0.21	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	99	7.07	87	6.21	105	7.50	12	0.86	12
感染性胃腸炎	89	6.36	91	6.50	81	5.79	16	1.14	16
水痘	11	0.79	2	0.14	2	0.14	1	0.07	1
手足口病	0	0.00	1	0.07	1	0.07	2	0.14	2
伝染性紅斑	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
突発性発疹	3	0.21	0	0.00	3	0.21	1	0.07	1
ヘルパンギーナ	0	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	0
流行性耳下腺炎	0	0.00	0	0.00	2	0.14	0	0.00	0
不明発疹症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
川崎病(MCLS)	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	0	0.00	1	0.50	1	0.50	0	0.00	0